IMPRESSA X9

ユーザーマニュアル

お客様へ

このたびは、当社の全自動エスプレッソコーヒーマシン「インプレッサＸ９」をご購入いただき誠に有難うございます。　このインプレッサＸ９を安全に正しくお使いいただけるように、ご使用の前にこのマニュアルをお読みになり内容を十分にご理解下さい。
このマニュアルは安全な場所に保管をして必要な時にいつでも見ることができる状態にしておいてください。
このマニュアルの不明な点や、使用中に発生した問題点に関する記載が取扱説明書にない場合には販売代理店又は取扱説明書に記載してある連絡先に連絡をして下さい。

IMPRESSA X9 マニュアル

目次

安全上のご注意＿＿＿

この取扱説明書は大切に保管をして下さい。

安全上のご注意　（安全に関する重要事項です必ずお読み下さい）

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使い下さい。

表示されているマークの説明

この表示は誤った取扱いすると人が死亡または重傷を負う可能性があること示しています。

この表示は誤った取扱いすると人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があること

一般的な注意事項

■　製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないで下さい。
　　修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。また、本体を改造することも絶対に行なわないで下さい。　水漏れや感電や火災の原因となります。
■　異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源コードを抜いてください。そしてすぐに販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい（電源をコード抜く時には感電をしたり火傷をしないようにして下さい。）
■　本体の内部にある部品や電気配線や配管などには手や体を接触させないで下さい。　火傷や感電の原因となります。
■　この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには速やかに電源を切り販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい。　そのままで使用すると感電や火災などの原因となります。
■　本体に水がかかったり付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
■　製品を移動する場合には、電源につながれていないこと、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかすが無く、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。

■　電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。　電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用下さい。
■　製品の点検やお手入れをする時には、必ず主電源を切り電源コンセントを抜いて行なってください。　感電や火傷怪我の原因となります。
■　電源コードをコンセントへ抜き差しする時には電源コードの取扱いに十分に注意をして下さい。　また、電源コードに人や物が絡まったり，つまづいたり、踏まれたりしないようにして下さい。　感電や火災や怪我の原因になります。
■　長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを必ず切ってください。　また電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。
■　表面が熱くなっている部分には触れないで下さい。火傷や怪我の原因となります。
■　火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないで下さい。
■　子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払って下さい。
■　部品の取付、取り外し又は清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なって下さい。
■　コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないで下さい。
■　付属品以外のものを使用しないで下さい。　火事、感電や怪我の原因になることがあります。
■　野外では使用しないで下さい。
■　電源コードが卓上、カウンター上又は表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにして下さい。
■　ガスコンロ、電熱器や熱くなったオーブンの上やそばに置かないで下さい。
■　最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んで下さい。
■　マシンの電源スイッチをＯＦＦにしてから電源コンセントからプラグを取り外して下さい。
■　本来の目的以外には使用はしないで下さい。
■　スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をして下さい。火傷や怪我の原因となります。
■　このマシンは 家庭用又は業務用のマシンです。

設置及び据付時の注意事項

⚠ 警告

■　本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行い、電源の容量が不足したり設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災の原因になります。
■　据付を行なう時には本体の電源コードが損傷をしたり、無理な配線をしたりしないようにして下さい。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災の原因になります。
■　電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使い下さい。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。

⚠ 注意

■　設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないで下さい。　落下や転倒などにより怪我の原因となります。
■　据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。　不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
■　天然木や天然石の上に置く場合には、マシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散して表面を汚したり変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置したり、直接当たらない様に保護を行なってください。
■　設置周辺温度が３３℃以上になる場所、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないで下さい。内部の電気部品などの故障の原因となります。
■　本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。 熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。

操作を行なう時の注意事項

⚠ 警告

■　スチームや熱湯の抽出操作を行なう前にはノズルの向きに注意をして下さい。火傷や怪我の原因になります。
　　また、使い終わった時には誤操作により噴出した熱湯やスチームを浴びないようにノズルの位置を排水トレー方向に向けてください。
■　顔や手に熱湯やスチームがかからないようにノズルの位置に常に注意をして取扱いを行なってください。
■　スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないで下さい。感電の危険性があります。
■　コーヒー豆ホッパーが作動中にホッパーの中に手を入れないで下さい。　怪我の原因になります。
■　ミルク系統の洗浄は規定どおりに実施してください。　洗浄を行なわず放置しておくとミルク系統内に残ったミルクに細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。部品の清掃に食器洗浄機は使用しないでください。 熱でゆがみが生じ、故障する 場合がございます。

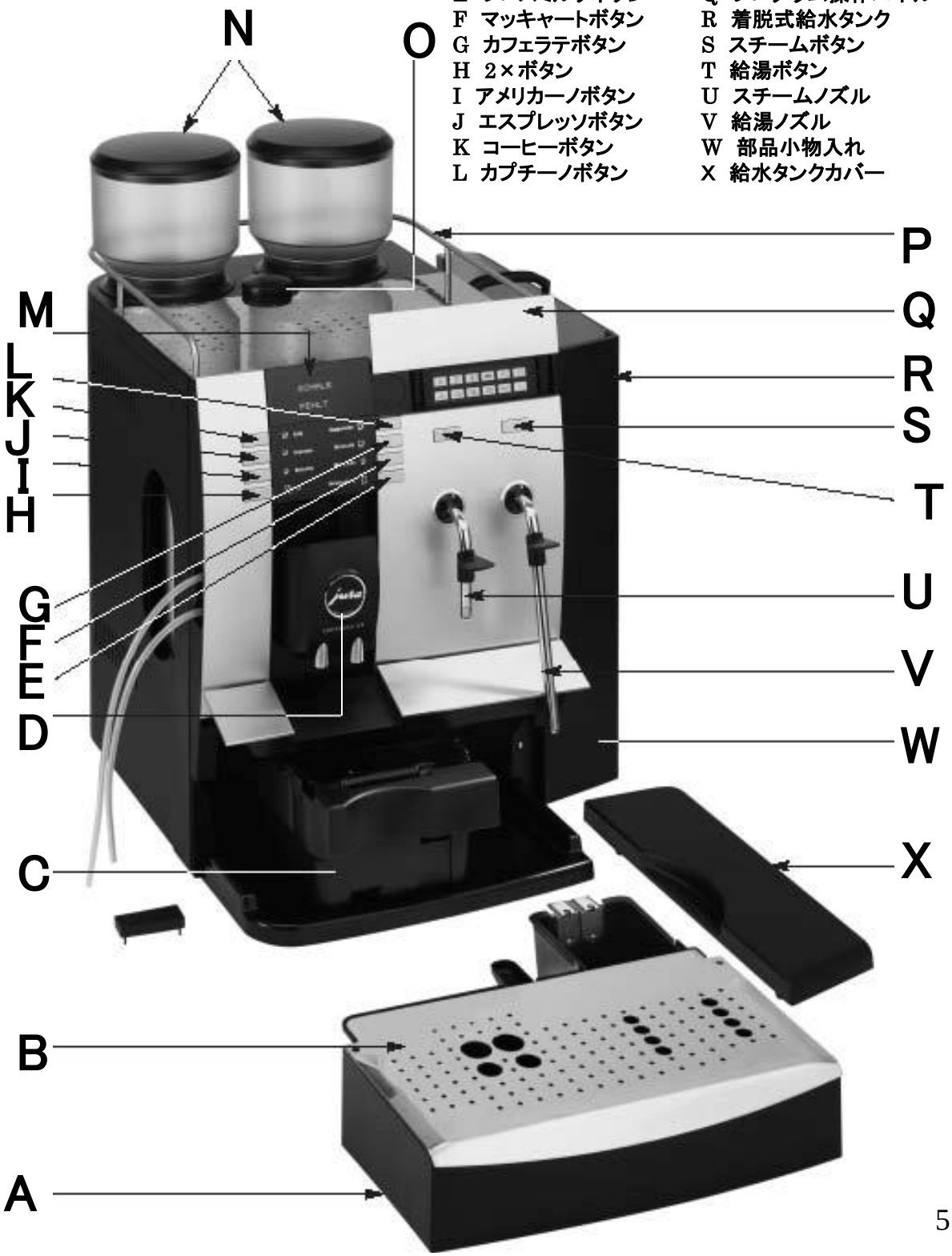
⚠ 注意

■　着脱式給水タンク内の水は毎日必ず交換をして下さい。
■　着脱式給水タンクを取り外します。　着脱式給水タンク内部を水道水でよくすすぎます。　着脱式給水タンクに水を入れます。着脱式給水タンクを元の位置に取り付ける。
■　このときに、タンクがしっかりと本体とのロック機能で固定されていることを確認してください。
■　着脱式給水タンクにはお湯や熱湯は入れないで下さい。常に水を給水してください。
■　（注）お湯でなく必ず水を給水してください。
■　（注）水以外の飲料（例えばミルクなど）やミネラルウォーター類は使用しないで下さい。
■　着脱式給水タンクを取り外さない状態で給水タンクの中に直接水を注いで給水することもできます。このときには本体の他の部分に水がこぼれたり、かからないように十分に注意をして下さい。
■　給水後は給水タンクの蓋をきちんと取り付けてください。
■　コーヒーホッパーは定期的に（２週間）内部をよく清掃してください。放置しておくと雑菌が繁殖することがあります。
■　ホッパー内にコーヒー豆が入っている状態でホッパーを取り外す時には、本体裏面のパネルを開けてホッパー下部にあるストッパーを奥まで差込みホッパー内の豆がホッパーを取り外す時に落ちないようにしてください。　（ホッパーのストッパーは両方のホッパーに着いています。）

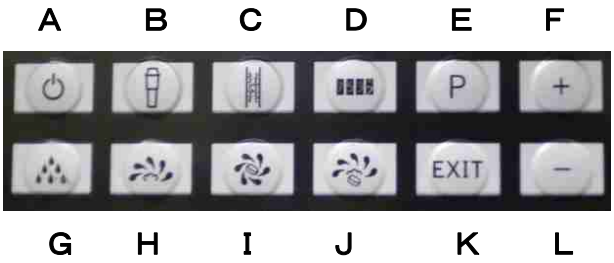
各部名称

（メニューは初期設定値を記載）

A 排水トレー
B 排水すのこ
C コーヒーかす受け容器
D 高さ調整式抽出口
E フロスミルクボタン
F マッキャートボタン
G カフェラテボタン
H 2×ボタン
I アメリカーノボタン
J エスプレッソボタン
K コーヒーボタン
L カプチーノボタン
M ディスプレー表示パネル
N コーヒー豆ホッパー
O 洗浄剤投入口
P カップレール
Q プログラム操作パネル
R 着脱式給水タンク
S スチームボタン
T 給湯ボタン
U スチームノズル
V 給湯ノズル
W 部品小物入れ
X 給水タンクカバー



プログラミングボタン



	機能	説明
A	ON/OFF	マシンの電源を入り切りします
B	クラリスフィルター	クラリスフィルターの交換
C	スケール除去	スケール除去サイクルを開始します
D	カウンター	各種メニューの杯数確認をします
E	プログラミングモード	プログラミングモードに移行します
F	選択ボタン（上方向）	各種選択をする時に使います（上方向に移動）
G	すすぎ（リンス）	すすぎ（リンス）を行ないます
H	ミルクライン洗浄	ミルクラインの洗浄を行ないます
I	コーヒーライン洗浄	コーヒーラインの洗浄を行ないます
J	抽出口洗浄	抽出口の洗浄を行ないます （このボタンは、1行程内にミルクラインとコーヒーラインの洗浄を行います。）
K	終了	プログラミング操作等の終了
L	選択ボタン（下方向）	各種選択をする時に使います（下方向に移動）

メニューボタン

下写真は
各ドリンクメニューボタンの配置例です。

コーヒー
エスプレッソ
アメリカーノ
2X

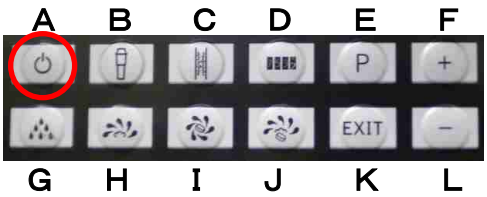
カプチーノ
カフェラテ
ラテマッキャート
フロスミルク

■最初に行なう操作（マシン立ち上げ時）

■ 始めに給水タンクに水が入っていることと、ホッパーのコーヒー豆が入っていることを確認してください。

■IMPRESSA X9の電源を入れます。

▼マシン裏側の主電源スイッチをONにします。



▼前面のプログラミングパネル（Q）を開けます。

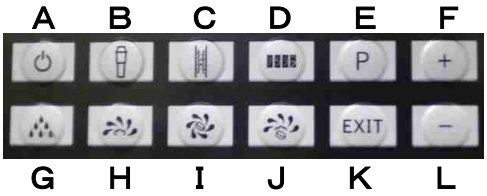
▼ON/OFFボタン（A）を押して電源を入れます。

▼ディスプレーが左記のように表示した後、
タンク（ボイラー）のヒーティング（加熱）を行います。

※ マシンがヒーティングを始め、立ち上がるには、
約2分間かかります。

▼マシンが正規に立ち上がると左記の表示になります。

▼マシン抽出口をすすぐため、自動的に抽出口より
湯が約30秒間、抽出されます。



▼すすぎの際に抽出口より出るお湯の飛散を防ぐため
排水トレーのすのこを外します。

■マシンのすすぎが終了しますと、左記の表示になり
コーヒー抽出の準備が出来ました。

■ ミルクラインの洗浄

■ ミルクラインの洗浄行程は途中で中断できません。
■ **所要時間は約2分です**。
■ 抽出口の洗浄を毎日行っていれば、このミルクラインの洗浄は必要ありませんが、アイドルタイム等時間が空いている時にこの洗浄をお奨めします。

▼すすぎの際に抽出口より出るお湯の飛散を防ぐため排水トレーのすのこを外します。

▼容器をもう一つ用意して、150ccの水を入れ、ミルクチューブクリーナーを15cc入れてよくかき混ぜます。(容器B)

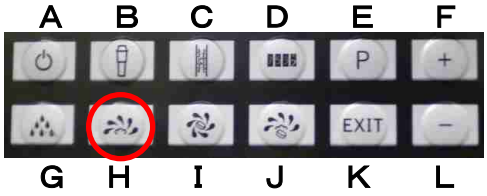
▼2本のミルクチューブの先端を容器の中に入れます。

ディスプレーの表示

CLEANE Cappu

Time Ca. 2‘ Start Yes

▼プログラミングパネル(Q)を開けます。



CLEANE FOR

PRESS KEY

▼ミルクライン洗浄ボタン(H)を押します。
ディスプレーは交互に点滅します。
▼再度実行するのにミルクライン洗浄ボタン(H)を押しますと洗浄工程が始まります。

MACHINE CLEA

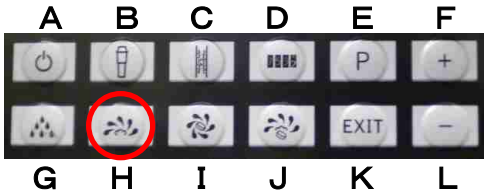
■1度洗浄工程が終わりますとビープ音が聞こえます。

WATER FOR C

PRESS KEY

▼再度、すすぎのために容器Bをすすいだ後に**150ccの水道水だけ**を入れて、2本のミルクチューブの先端を入れます。

▼ミルクライン洗浄ボタン(H)を押します。



MACHINE CLEA

COFFEE READY

■洗浄工程が終了すると、コーヒー抽出の準備が出来ます。

■抽出口の洗浄　抽出口の洗浄は1日1回行うようにしてください。

■ マシンがコーヒーの抽出を220杯分又は80回のリンスを行なった時にはマシンの洗浄が必要です。
■ このままでもコーヒーや熱湯、スチームの抽出は可能ですが、この表示が出ましたらその日のうちにマシンの洗浄作業をして下さい。

※ この洗浄行程は、1行程の間にコーヒーラインとミルクラインの洗浄を行います。

ディスプレーの表示

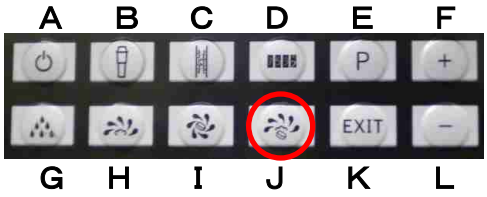
COFFEE READY

CLEAN

この状態で、マシンを洗浄しなかった場合には、さらに次のメッセージが表示されます。

CLEAN NOW

■ 抽出口の洗浄行程は途中で中断できません。
■ **所要時間は約20分です。**



▼すすぎの際に抽出口より出るお湯の飛散を防ぐため排水トレーのすのこを外します。

▼ミルクライン洗浄のため、容器をもう一つ用意して、150ccの水を入れ、ミルクチューブクリーナーを15cc入れてよくかき混ぜます。(容器B)
▼2本のミルクチューブの先端を容器の中に入れます。

CLEANE Cappu

▼プログラミングパネル(Q)を開けます。

Time Ca. 20‘　Start Yes

▼抽出口洗浄ボタン(J)を押します。
ディスプレーは交互に点滅します。

EMPTY
TRAY

▼再度実行するのに抽出口洗浄ボタン(J)を押しますと洗浄工程が始まります。

▼排水トレー(A)を引き抜き(出し)ます。
注) トレー内に溜まっている排水に注意をして捨ててください。

EMPTY
COFFEE BIN

▼コーヒーかす受け(C)を取り出します。
カス受け箱の中に溜まっているコーヒーかすに注意をして捨ててください。

ディスプレーの表示

CLEANER FOR
PRESS KEY

▼取り外したカス受け箱と排水トレーを清掃して元に戻します。

▼抽出口洗浄ボタン(J)を押します。

■抽出口の洗浄（つづき）

ディスプレーの表示

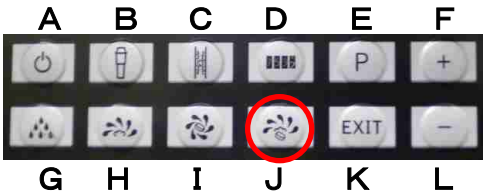
MACHINE CLEA

■ビープ音が聞こえます。

ADD TABLET

PRESS KEY

▼コーヒーマシンクリーナーを1錠用意し、洗浄剤投入口（O）を開けて、クリーナーを1錠入れます。



▼抽出口洗浄ボタン（J）を押しますと、再度クリーナーを溶かしてのコーヒーラインの洗浄が開始します。

MACHINE CLEA

■ビープ音が聞こえます。

WATER FOR C

PRESS KEY

▼再度、すすぎのために容器Bに約150ccの水道水だけを入れて、2本のミルクチューブの先端を入れます。

▼抽出口洗浄ボタン（J）を押しますと、ミルクラインの洗浄が開始します。

MACHINE CLEA

■洗浄終了後、ビープ音が聞こえます。

EMPTY

TRAY

▼排水トレー（A）を引き抜きます。
中に溜まっている排水に注意をして捨ててください。

EMPTY

COFFEE BIN

▼コーヒーかす受け（C）を取り外します。
中に溜まっているコーヒーかすに注意をして捨ててください。

COFFEE READY

■洗浄工程が終了すると、コーヒー抽出の準備が出来ます。

■クラリスフィルター(スケール除去フィルター)の取付

■ クラリスフィルターを最初にマシンに取り付ける作業は販売店又はサービス店が実施してください。

クラリスフィルターは適切に使用することで水中のカルシウム成分等を吸着してマシン内にスケールが固着するのを軽減する効果があります。

■ クラリスフィルターを常用し、適切な交換を行なっている場合にはスケール除去剤によるスケール除去作業は必要ありません。
■ (注意！)但し、お使いの場所の水質によりクラリスフィルターを使用していてもスケール除去作業が必要になる場合があります。
また、クラリスフィルターを適切に取り付けていなかったり、交換していない場合にもスケール除去作業が必要になる場合があります。

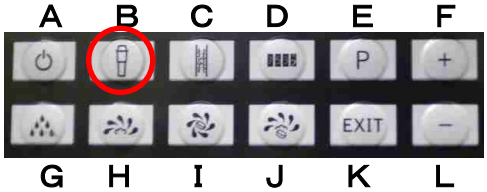
■クラリスフィルターの交換

■ クラリスフィルターの交換はアラームで表示されます。
■ クラリスフィルターの交換のために設定をした水量(リットル)を超えると、自動的に交換を即すメッセージを表示します。
(注意！)交換時期はお使いの水質や使用頻度により多少異なることがあります。

ディスプレーの表示

CHANGE FILTER

Time Ca. 2‘ Start Yes



▼プログラミングパネル(Q)を開けます。
▼フィルター交換ボタン(B)を押します。
ディスプレーは交互に点滅します。

COFFEE READY

CHANGE FILTER

▼再度実行するのに抽出口洗浄ボタン(B)を押しますと洗浄工程が始まります。
▼給水タンクを取り外し、中の水を捨ててタンクを空にします。

INSERT FILTE

PRESS WATER

▼既存のクラリスフィルターを取り外し新しいクラリスフィルター
▼給水タンクを水道水で満たし、マシンに取り付けます。
マシンに取り付けてから、冷水を給水タンクに注水することもできます。

FILTER RINSE

▼十分な容量(約1リットル)の容器を用意し、給湯ノズルの下に置きます。

▼給湯ボタン(T)を押します。

COFFEE READY

■交換したクラリスフィルターをすすいだ水が給湯ノズルから流れ出し自動的に止まります。

■この行程が終了したらコーヒー抽出が出来ます。

インプレッサX9の仕様一覧

型式	623A4
蒸らし抽出機能	標準
2杯取機能	標準
設定可能メニュー	コーヒー、ミルク、熱湯、スチームの組み合わせで16種類
高さ調整可能抽出ノズル	標準　60－142ミリメートル
フロスミルク機能	標準　オートカプチーノ機能有
スチームミルク機能	標準　オートカフェラテ機能有
熱湯抽出ノズル	標準
スチームノズル	標準
コーヒー豆ホッパー	標準　650グラムx2基
グラインダー	6段階調整式　標準　2基
コーヒー豆ブレンド機能	標準
コーヒー豆分量設定機能	5－16グラム（誤差±1グラム）
着脱式給水タンク	5リットル（水量自動監視通知機能）
コーヒーかす受け	約40杯
クラリスフィルター	定期交換が必要です。（使用頻度により交換時期は異なります。）
自動洗浄機能	コーヒー系統、ミルク系統、抽出口洗浄
抽出温度設定機能	標準
スケール除去警告機能	標準
水質硬度調整機能	標準
抽出最大ポンプ圧力	15気圧
1日当たりの最大抽出可能杯数	100杯まで
抽出湯量	約10リットル/時間
電源/消費電力	100V　50／60Hz　1250W　専用電源推奨
重量	20.5キロ
寸法	幅　43　x　奥行き　51　x　高さ　58.5　センチ
電源コード長	1.4メートル
コンセント形状	接地コンセント　15A　125V/AC
コーヒー抽出能力	120ml　1杯　約40秒（*）
エスプレッソ抽出能力	60ml　約1杯30秒（*）
カプチーノ抽出能力	60mlコーヒー　約1杯40秒（*）

（*）抽出時間はコーヒー豆の挽き目具合により異なります。

上記の仕様は改良などにより変更される場合がありますのでご了承下さい。

マシン機能上のアラーム：　こんな時は、、、、、

表示されたメッセージ	原因	処置	ボタン
WATER TANK FILL	■給水タンクが空です。 ■給水タンク内の水位計が詰まっています。 ■給水タンク内のスケール成分で水位計が固着しています。	■給水してください。 ■給水タンクを良くすすいだ後に再度給水してください。 ■給水タンクを取り外しスケール除去を行なってください。	
FILL BEANS GRINDER LEFT (RIGHT)	■コーヒー豆ホッパーが空です。 LEFTの表示＝　向かって左側 RIGHTの表示＝向かって右側	■コーヒー豆を投入して抽出操作を2～3回行なって確認してください。	
CHECK BEAN CONT-AINER	■ストッパーが閉じているか、異物が詰まっています。	■ストッパーを閉じていましたら、解除してください。又は、異物を取り除いてください。	
EMPTY COFFEE BIN	■コーヒーかす受け容器が満杯になっています。	■コーヒーかす受け容器を取り出して空にして下さい。約10秒経過してから再度かす受け容器を取り付けてください。	
EMPTY TRAY	■排水トレーが満杯です。 ■表示が消えない。	■排水トレーを空にして再度取り付けてください。 ■排水トレーのメタルシート（センサー接触部分）を清掃して下さい。	
COFFEE SPOUT MISSING	■抽出口カバーが外れています。又は正しく取付けられていません。	■抽出口カバーを正しく取り付けてください。	
TRAY MISSING	■排水トレーが正しく取り付けられていません。 ■表示が消えない。	■排水トレーを正しく取り付けてください。 ■排水トレーのメタルシート（センサー接触部分）を清掃して下さい。	
COFFEE BIN MISSING	■コーヒーかす受け箱の入れ忘れ。 ■カス受け箱のカバーが取り付けられていません。	■コーヒーかす受け箱を正しく取り付けてください。 ■カス受け箱のカバーを付けて、再度取り付けしてください。	
CLEAN 又は CLEAN NOW	■220回の抽出か80回のすすぎ工程が実施されました。 ■洗浄工程が終了してもアラーム表示が続いています。	■「抽出口の洗浄」の手順に従って洗浄してください。 ■洗浄工程を洗浄剤を使わずに再度実行してください。「抽出口の洗浄」はマニュアル9ページ。	J
SELECT PRODU DESCALE	■マシンのスケール除去作業を行なう必要があります。 ■スケール除去工程が終了してもアラーム表示が続いています。	■「スケール除去」の手順に従ってスケール除去を行なってください。 ■スケール除去工程をスケール除去剤を使わずに再度実行してください。 ■　クラリスフィルターを常用し、適切な交換を行なっている場合にはスケール除去剤によるスケール除去作業は必要ありません。	
FILTER CHANGE	スケール除去フィルターの効果がなくなりました。	■「クラリスフィルターの交換」に従ってスケール除去フィルターを交換してください 「クラリスフィルターの交換」は マニュアル11ページ参照	B
ERROR　番号	■販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい。		

操作パネル・ボタン

保証とアフターサービス

1.保証書

●本書に添付しています。

●保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。

●保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2.修理を依頼されるとき

取扱書の内容をお確かめいただき、コーヒーマシンが直らないときは電源プラグを抜いてから当社に修理についてご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理致します。当社までお申し出ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。当社にご相談ください。

3.アフターサービスについてご不明な場合

●アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。	
●お名前	●商品名　ユラ インプレッサX9
●ご住所	●製造番号
●電話番号	●故障の症状、状況（出来るだけ詳しく）

修理相談窓口 ブルーマチックジャパン株式会社　横浜:(045)947-0804 大阪:(06)6531-1333

受付時間(平日:8:00～18:00 土曜:9:00～17:00 左記時間外及び日祭日:留守番電話)

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、コーヒー系統、ミルク系統、抽出口の洗浄をそれぞれ適切に行なってください。

部品の清掃に食器洗浄機は使用しないでください。熱でゆがみが生じ、故障する場合がございます。

一日の営業開始前及び終了後は取扱説明書に従い自動洗浄を行ってください。

ミルク系統の洗浄には、専用のミルククリーナーを使って洗浄を行なってください。

ミルククリーナー(液体)を使用するときには直接手や肌に接触しないようにして下さい。

コーヒー系統の洗浄には専用のコーヒーマシンクリーナーを使って洗浄を行なってください。

洗浄剤は小さなお子様の手に触れない場所に保管をして下さい。

着脱式給水タンクの水は毎日必ず取り替えてください。

必ず冷たい新鮮な硬度の低い水道水をお使い下さい。
また、ミネラル成分の多い水を使うとマシン内部にスケールが発生しマシンの性能を損なう恐れがあります。

タンクには熱湯やミルクなど水以外のものを入れないで下さい。

給水タンクを本体につけたまま給水を行なう時には本体のほかの部分に水がこぼれたりかかったりしないようにして下さい。

コーヒーホッパー内の清掃は内部に雑菌が繁殖しないように取扱説明書にしたがい定期的に行なってください。

使用中に、取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちに当社へご連絡下さい。

製 品 番 号	11900
製 造 番 号	
保 証 期 間	お買い上げの日より1年、もしくは累計抽出杯数20,000杯まで。
お買い上げ日	年　　月　　日
お客様お名前	
ご　住　所	
電 話 番 号	

無料修理規定

本書は、本書記載内容で、無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

1　取扱説明書、本体添付のラベル等の注意に従った使用状況で保障期間内に万一故障をした場合には故障箇所の無料修理を行ないます。

2　保障期間内に故障をして無料修理を受ける場合には販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい。

3　次のような場合は、保証期間内でも有償修理になります。

(1) 使用上の誤り、取扱説明書に記載してあるとおりの使用をしなかった場合。

(2) 取扱説明書に記載されている日常のお手入れを怠ったことが原因で発生した故障や損傷。

(3) 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障や損傷。

(4) 販売店以外で修理、改造などを行なったことが原因で発生した故障と損傷。

(5) 消耗品、付属品等の消耗による交換及び交換作業。

(6) 火災、水害、地震などの天災地変、塩害、公害、異常電圧、過電流など外部要因による故障及び損傷。

(7) 落下、転倒、水濡れ、打撲や本体内部の基盤が破損変形したことなどによる故障及び損傷。

(8) 車両などに搭載して使用したり、移動後に発生した故障及び損傷。

(9) 保証書の提示が無い場合、および保証書記載の製造番号と製品の製造番号が異なる場合。

(10) 保証書の記載内容が変更、書き換えられている場合。

4　本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

5　本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

＊この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって, お客様の法律上の権利を制限するものではありません。ご不明な場合は当社にお問合せ下さい。

＊保証期間は、お買い上げの日より1年間もしくはマシンの累計抽出回数が20,000杯までのいずれかを過ぎた場合は無効となります。

＊お客様にご記入いただいた保証書の内容を、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

＊本製品の使用により、または故障により生じた直接・間接の損害については保証対象外とします。

輸入代理店　**ブルーマチックジャパン株式会社**

神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎東4-5-13

(045)947-0800 （代表）

ブルーマチックジャパン株式会社
本社：横浜市都筑区茅ヶ崎東4-5-13
ＴＥＬ：045-947-0800（代表）
大阪営業所：大阪市西区阿波座1-9-9　1Ｆ
ＴＥＬ：06-6531-1333（代表）

EDITION APRIL 2009